令和８年度第１回 富竹の里和み 運営推進会議 議事録

日時　令和８年５月２６日（火）
１１：００～１１：４５
場所　富竹の里　法人会議室

１　開会
（長野市　竹内様、統括施設長　嶋田、富竹の里和み　内山介護主任は所用により欠席される。）

２　内田管理者あいさつ
・管理者になり２年目を迎えました。生活相談員との兼務となりますが引き続きよろしくお願いいたします。
コロナ禍を経て、様々な行事の開催も難しくなっていましたが、地域貢献も徐々に再開できるようになり今後とも社会貢献できるよう施設運営をして参ります。

３　運営推進会議の設置要綱、令和８年度構成員の紹介（坂本相談員より）
・今年度より地域住民代表として、富竹区区長の小木曽様が新たに構成員としてご依頼させて頂きました。
・構成員の自己紹介を行う。

４　活動状況報告（坂本相談員より）
・入居状況、待機者状況ならびに現況調査結果報告と説明（別紙資料参照）
・活動報告として外出レクリエーションが多くなっている。自宅への外出や公園での散策などご本人ご家族の希望実現を積極的に実施しています。
・ボランティア活動の来訪も定期的に取り組んでいます（ハーモニカ演奏やカーテン芝居など）また衣料販売を年に２回程実施する予定で、５月２７日にも実施いたします。
・相談、苦情報告補足説明としまして、ご家族へ介護保険改定後の同意書をお送りし返書に対して再度依頼させて頂くが、同意書はスタッフルームに戻っていた。返信書類の取り扱いを明確にし、介護職員も情報を共有できるように対策を講じました。
・ヒヤリハット、事故報告の補足説明といたしまして、内出血の発見が３件、自室トイレでの転倒１件、上腕の脱臼発見１件でした。内出血に関しましては受傷部位の保護やクッションを使用する事で皮膚トラブルが起きないよう環境を見直し、自立し立ち上がれ利用者様であっても、機能低下のリスク変化に対し見守り意識の情報共有をする事で対策を講じております。
脱臼に関し過去のレントゲンでも脱臼している形跡があり、特別な移乗支援はしてない状況でも、高齢者は筋肉量の減少により外れやすくなることを意識し、移乗支援を行っております。

５　令和７年度事業報告（２０２６ＡＮＮＵＡＬ　ＲＥＰＯＲＴ）（別紙資料を基に内田管理者より）
令和７年度満足度調査（別紙資料を基に坂本相談員より）
令和８年度事業計画（別紙資料を基に内田管理者より）
２０２６品質方針書（別紙資料を基に内田管理者より）
※別紙資料参照

６　その他
中東情勢等に伴う物価高騰・物品供給制限への対応について
※別紙資料参照
外国人介護職員（特定技能）の受け入れについて【特別養護老人ホーム　富竹の里での】
（坂本相談員より口頭で説明させて頂く）
・令和８年６月よりフィリピンの女性２名を受け入れることになっております。ご家族へのご理解を賜るよう書面にてご案内を送付済みです。また先んじて受け入れをされている施設の担当者より受け入れへのアドバイスをご講義頂きました。

※質疑応答
・待機者が１００名以上もいらっしゃるようですが、高齢者が多い中入居を待っている間に亡くなる方が圧倒的に多いのですか？（小木曽区長様より）
・亡くなる方もいらっしゃいますが、ご説明の通り他の施設へ入居される方が多くいらっしゃいます。お申し込みの段階では自宅で過ごすことが厳しい状況で申し込まれますが、病院から退院され他の介護サービスの利用を開始され、老健などの定期利用をしながら暮らせている方も多いのが実情です。後は介護が出来なくなった（ご家族が）場合のために申し込まれる方も多くいらっしゃいます。（坂本相談員より）

５　次回の開催予定
　令和８年７月２８日（火）　　１１：００～とする。

６　閉会
本日は長い時間ありがとうございました。富竹の里和み運営推進会議を閉じさせていただきます。